

第3期天草市天草地域まちづくり計画

～歴史・文化を育み 人が輝く 生き生き あまくさ～

天草市 天草地域

策 定 日	令和5年3月1日
改 正 日	初版

第3期天草市天草地域まちづくり計画 目次

1	計画のあらまし	1～2
1.1	計画策定の趣旨	1
1.2	計画の性格	1
1.3	計画の期間	1
1.4	計画の体系	2
2	天草地域の概要	3～5
2.1	位置・地勢	3
2.2	面積・土地利用	3
2.3	人口・世帯数	4～5
3	計画の基本方針	6
3.1	計画の基本理念	6
3.2	部門方針	6
4	分野別行動計画	7～10
4.1	産業経済部門	7
4.1.1	特色・課題	7
4.1.2	具体的な振興方策	7
4.2	観光・文化部門	8
4.2.1	特色・課題	8
4.2.2	具体的な振興方策	8
4.3	地域振興部門	8
4.3.1	特色・課題	8
4.3.2	具体的な振興方策	8
4.4	教育部門	9
4.4.1	特色・課題	9
4.4.2	具体的な振興方策	9
4.5	保健・医療・福祉部門	9
4.5.1	特色・課題	9
4.5.2	具体的な振興方策	9

4.6	生活環境・防犯防災部門	10
4.6.1	特色・課題	10
4.6.2	具体的な振興方策	10
5	計画の推進体制	11
5.1	実施	11
5.2	評価・改善	11
6	地域別計画	12～32
6.1	福連木地区振興計画	12～15
6.2	下田北地区振興計画	16～20
6.3	下田南地区振興計画	21～25
6.4	高浜地区振興計画	26～28
6.5	大江地区振興計画	29～32

1 計画のあらまし

1.1 計画策定の趣旨

平成18年3月27日、2市8町が合併して天草市が誕生しました。市内各地域には、素晴らしい自然や独自の文化や歴史、豊かな農林水産資源、さらには、日々の生活で育まれた相互扶助の精神など、全国に誇れる地域資源が数多くあります。

しかしながら、今日、本市においては、人口減少の急速な進展による過疎地域の増加や担い手不足による地域産業の衰退、さらには市民ニーズの多様化や少子高齢化への対応など多くの課題を抱えております。

このような地域社会を取り巻く環境の変化を、住民一人ひとりが「自分ごと」、「みんなごと」と捉え、地域住民と行政協働のもと、地域の特色や個性を活かした活動をできるところから実行し、「地域力」を高めていくことが重要になっています。

まちづくりに関する施策を効果的・効率的に推進するためには、地域住民と行政が一体となって、体系的・計画的に取り組む必要があるため、本地域のまちづくりの指針となる「天草市天草地域まちづくり計画」を策定し、「未来へ続く魅力ある地域づくり」を推進し、その実現を目指すものです。

今回、第2期天草市天草地域まちづくり計画を検証し、地域の課題等を再確認するとともに内容の見直しを行いました。

1.2 計画の性格

本計画は、次のような性格を持っています。

- ① 長期的・総合的な視点から、本地域が目指す今後のまちづくりの基本的な方向を示しています。
- ② 本市が策定する「第3次天草市総合計画基本計画」と方向性を共有しながら、地域が主体となって策定する計画として策定します。
- ③ 本地域の地域住民や行政機関のみならず、まちづくり関係団体、企業、学校など、地域全体でまちづくりに取り組む方向性を示しています。

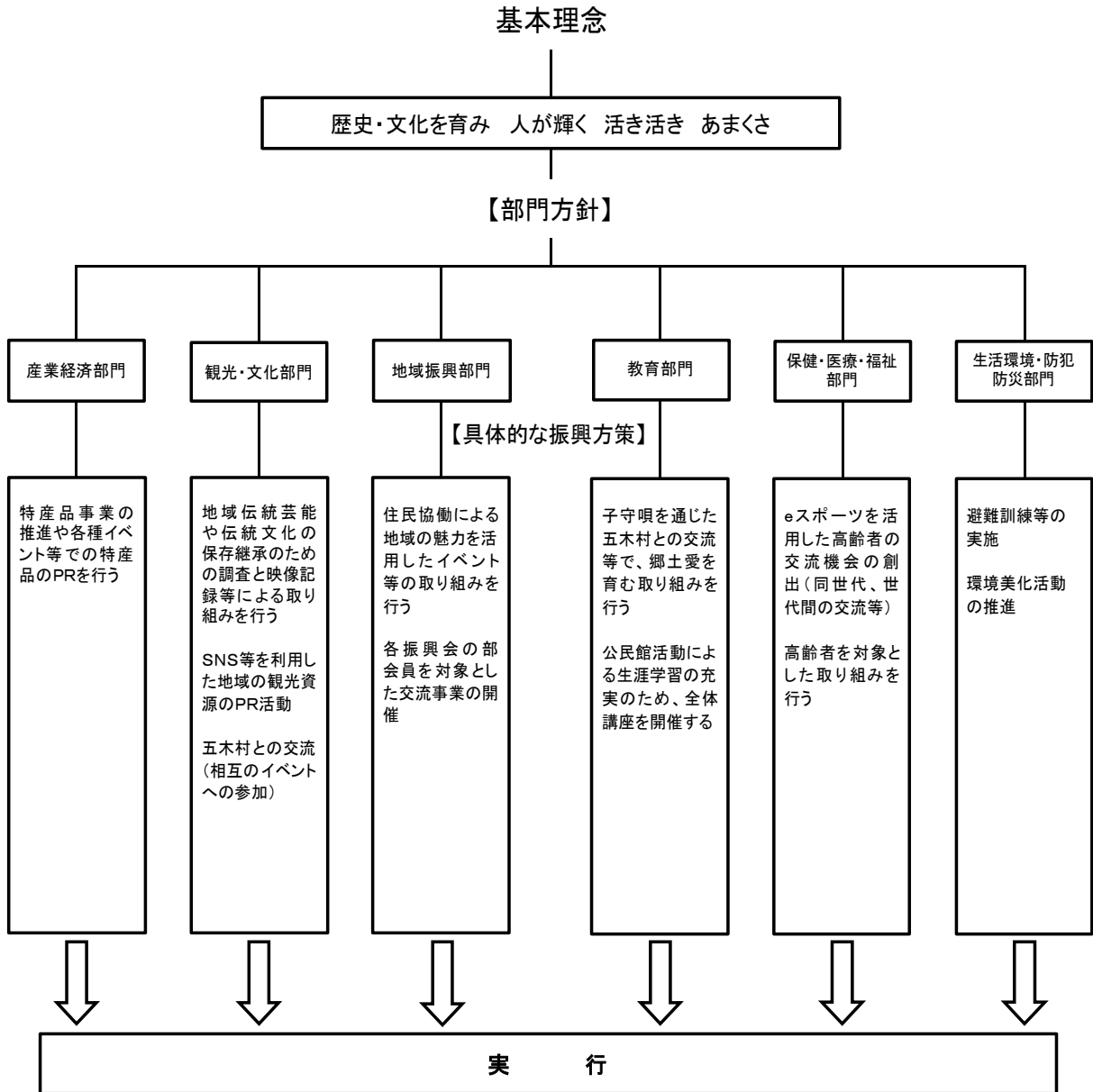
1.3 計画の期間

本計画の期間は、令和5年度から令和7年度までの3年間です。

また、実現すべき施策目標を設定するとともに、その施策目標を達成するために必要な計画を示したものです。

1.4 計画の体系

図1 天草市天草地域まちづくり計画の方策の体系



2 天草地域の概要

2.1 位置・地勢

本地域は天草市の下島西部に位置しており、福連木、下田北、下田南、高浜、大江の5地区で構成されています。西部は東シナ海に面し、サンセットラインと呼ばれ夕陽が美しい景勝地です。また、東部は江戸時代幕府直轄でもあった角山（官山）を有するなど、多くの自然に恵まれています。

また、本地域は、国民保養温泉地に指定されている下田温泉や国指定名勝天然記念物の妙見浦をはじめ、約2万本のヤブ椿や近年SNSで有名となったアコウの木が自生する西平椿公園、白鶴浜海水浴場を有し、他にも全国シェア8割を占める陶磁器の原料となる天草陶石や、キリシタン文化の歴史的遺産などがあり、多くの観光資源にも恵まれています。

産業は第3次産業が主な産業となっており、その他豊かな自然を生かした農・水産業が営まれています。



2.2 面積・土地利用

本地域の総面積は85.48 km²で、市面積の約12.5%を占めています。

土地利用については、全体の約85.4%を農地・山林で占めており、宅地・道路用地については約3.9%となっています。

表1 天草地域土地面積（2018（平成30）年10月1日現在）

	天草地域	天草市
面積（km ² ）	85.48	683.87
割合（%）	12.5	100

（国土地理院九州地方測量部）

2.3 人口・世帯数

表2 天草地域の人口、世帯数の推移

区分	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
人口（人）	4,233	3,572	3,074	2,607
世帯数（世帯）	1,772	1,610	1,419	1,301
世帯当たり人員（人）	2.39	2.22	2.17	2.00

（国勢調査）

図3 天草地域の人口、世帯数の推移

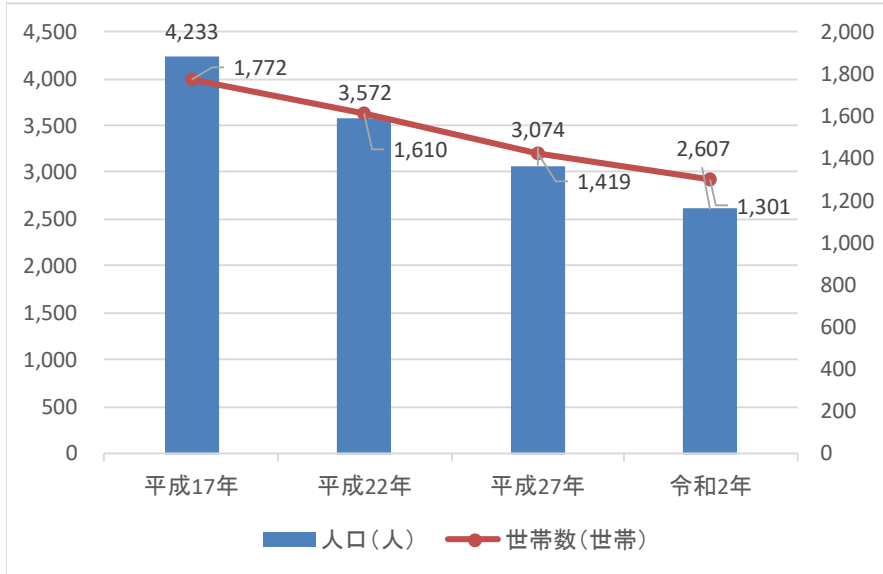


表3 天草地域の総人口、年齢階層別人口の推移

区分	平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	人口（人）	比率（%）	人口（人）	比率（%）	人口（人）	比率（%）	人口（人）	比率（%）
総人口	4,233	100.0	3,572	100.0	3,074	100.0	2,607	100.0
0～14歳	537	12.7	353	9.9	248	8.1	155	5.9
15～64歳	2,094	49.5	1,727	48.3	1,417	46.1	1,096	42.0
65歳以上	1,602	37.8	1,492	41.8	1,409	45.8	1,356	52.0

（国勢調査）

※総人口には年齢不詳者を含むため、年齢階層別人口の合計とは一致しません。

図4 天草地域の総人口、年齢階層別人口の推移

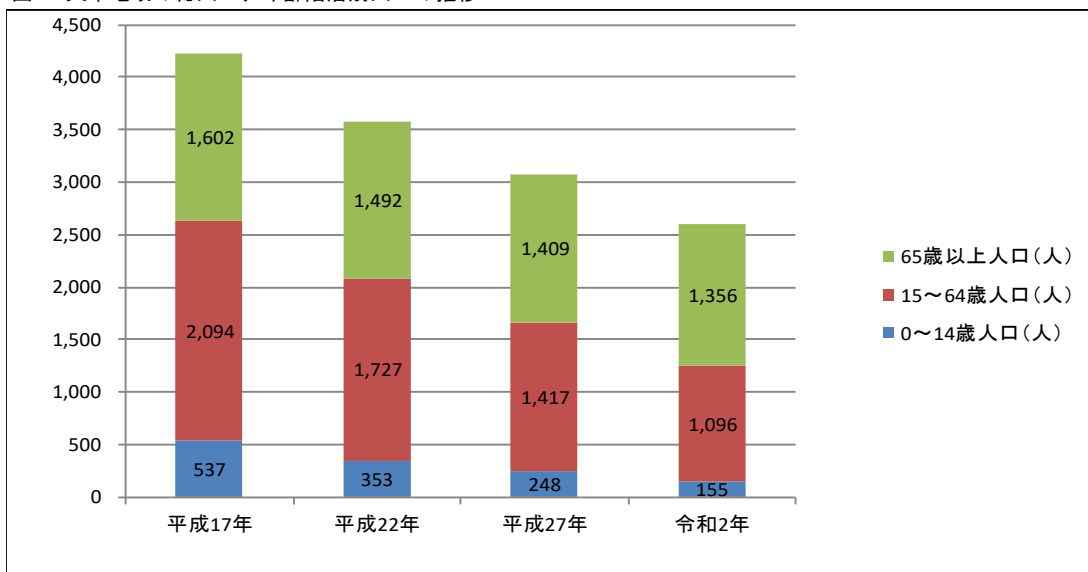


表4 天草地域の産業別就業者数の推移

区分	平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
就業人口総数	1,828	100.0	1,542	100.0	1,340	100.0	1,195	100.0
第1次産業	360	19.7	320	20.8	224	16.7	219	18.3
第2次産業	422	23.1	293	19.0	243	18.1	219	18.3
第3次産業	1,046	57.2	929	60.2	872	65.1	755	63.2

(国勢調査)

※就業人口総数には産業分類不能者を含むため、産業別就業者数の合計とは一致しません。

図5 天草地域の産業別就業者数の推移

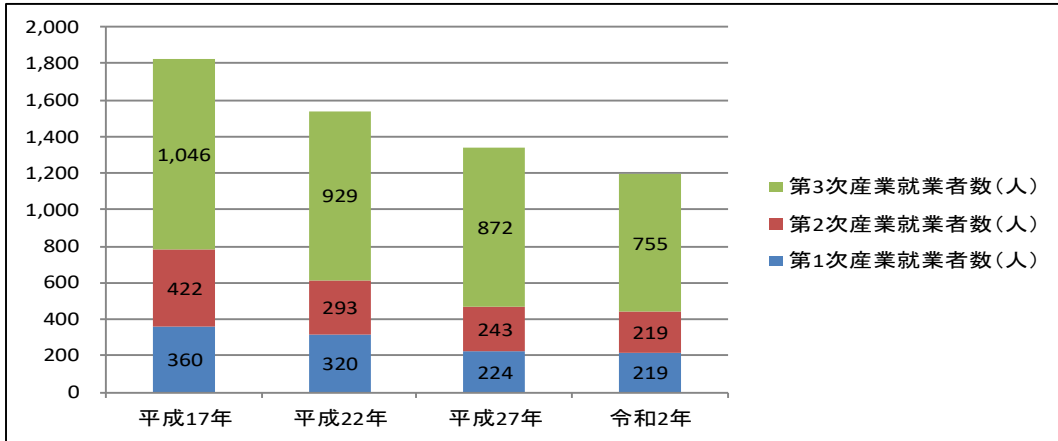


表5 天草地域の総人口、年齢階層別人口の推移 (将来予測)

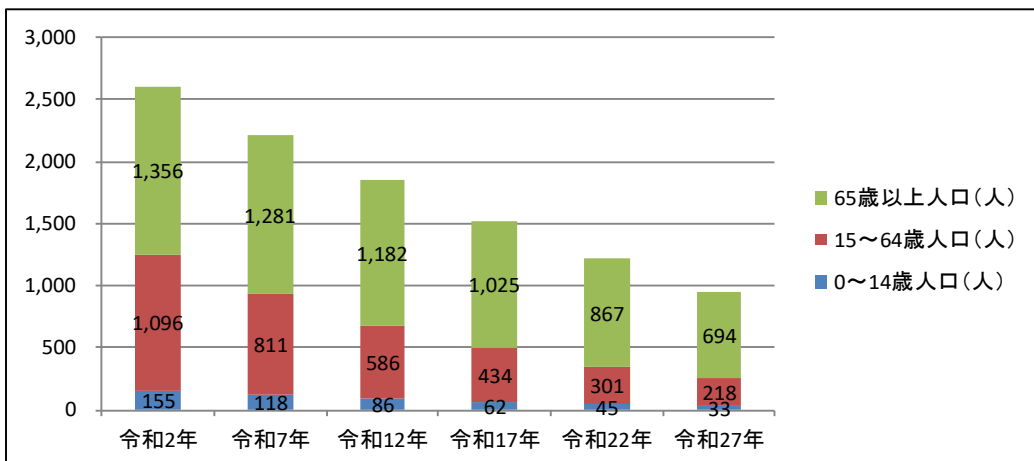
区分	令和2年		令和7年		令和12年	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
総人口	2,607	100.0	2,210	100.0	1,854	100.0
0~14歳	155	5.9	118	5.3	86	4.6
15~64歳	1,096	42.0	811	36.7	586	31.6
65歳以上	1,356	52.0	1,281	58.0	1,182	63.8

区分	令和17年		令和22年		令和27年	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
総人口	1,521	100.0	1,213	100.0	945	100.0
0~14歳	62	4.1	45	3.7	33	3.5
15~64歳	434	28.5	301	24.8	218	23.1
65歳以上	1,025	67.4	867	71.5	694	73.4

(令和2年：国勢調査、令和7～令和27年：市政政策企画課)

※平成22年から平成27年の国勢調査の人口推移を基に、コーホート変化率法を用いて平成32年から平成52年までの将来予測人口を算出。

図6 天草地域の総人口、年齢階層別人口の推移 (将来予測)



3 計画の基本方針

3.1 計画の基本理念

「歴史・文化を育み 人が輝く 生き生き あまくさ」

本地域において、生活スタイルやまちづくりに対するニーズが多様化・複雑化する中で、地域住民一人ひとりの主体的な取り組みを基本としつつ、地域住民と行政の協働のもと、継続的にまちづくりを実践できるように、様々な課題に計画的に取り組むことが重要になってきます。

地域住民一人ひとりが主役となり、できることから始め、地域の貴重な歴史文化遺産を継承し活用することで、まちの魅力を高めていく。そのようなまちづくりの基本理念を「歴史・文化を育み 人が輝く 生き生き あまくさ」とし、生きいきとした個性あるまち天草づくりを推進します。

3.2 部門方針

本計画の基本理念に即し、次のとおり分野別に方針を定め、本地域のまちづくりを展開します。

① 産業経済部門

地域資源を活用したまちづくり

② 観光・文化部門

歴史と伝統文化を活かしたまちづくり

③ 地域振興部門

みんなが参画するまちづくり

④ 教育部門

郷土愛を育む環境づくり

⑤ 保健・医療・福祉部門

生きがいを持ち心豊かな暮らしができるまちづくり

⑥ 生活環境・防災防犯部門

地域で支え合い助け合う安全で安心なまちづくり

4 分野別行動計画

各地区における意見交換やアンケートをもとに、本地域の特色と課題を分野別に洗い出しました。また、部門方針及びそれに基づいた具体的な方策を検討し、地域主体で取り組むもの、地域と行政との協働で取り組むもの等を分野別に分類しました。

4.1 産業経済部門

4.1.1 特色・課題

特 色	<ul style="list-style-type: none"> ① 豊富な観光資源と下田温泉を有しており、第3次産業の従事者が多い（サービス業が多い） ② 美味しい農産物・海産物が獲れる
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ① 少子高齢化が加速している ② 労働力不足や獣害等が相まって耕作放棄地が多い ③ 雇用の場が少ない ④ 一次産業においては後継者不足である

4.1.2 具体的な振興方策

特 色	課 題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短 期			長 期		
				R5	R6	R7			
②	① ～ ④	特産品事業の推進や各種イベント等での特産品のPRを行う	年1回以上				→	まち協 + 振興会 + 関係 団体	政策 15

4.2 観光文化部門

4.2.1 特色・課題

特色	①観光資源・文化遺産が豊富である
課題	①高齢化の加速により伝統芸能・伝統文化を継承する人材が不足している ②観光資源の活用とPRが不足している

4.2.2 具体的な振興方策

特色	課題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短期			長期		
				R5	R6	R7			
①	①	地域伝統芸能や伝統文化の保存継承のための調査と映像記録等による取り組みを行う	年3事業以上					まち協	政策 9
①	②	SNS等を利用した地域の観光資源のPR活動	週1回以上					まち協 + 振興会	政策 16
①	②	五木村との交流（相互のイベントへの参加）	年1回以上					まち協 + 振興会	政策 9

4.3 地域振興部門

4.3.1 特色・課題

特色	①各地区振興会の取り組みが盛んである
課題	①地域イベントの参加者が固定化しつつある ②地域間（各振興会地区）の交流機会が少ない ③役員のなり手が不足している

4.3.2 具体的な振興方策

特色	課題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短期			長期		
				R5	R6	R7			
①	① ③	住民協働による地域の魅力を活用したイベント等の取り組みを行う	各地区開催					振興会	政策 1
①	① ②	各振興会の部会員を対象とした交流事業の開催	年1回					まち協 + 振興会	政策 1

4.4 教育振興部門

4.4.1 特色・課題

特色	①郷土愛を育むための素材が多い ②公民館講座が充実している
課題	① 教え伝える人材が少なくなっている

4.4.2 具体的な振興方策

特色	課題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短期			長期		
				R5	R6	R7			
①	①	子守唄を通じた五木村との交流等で、郷土愛を育む取り組みを行う	年1回					まち協 + 小学校	政策 6
②	①	公民館活動による生涯学習の充実のため、全体講座を開催する	年1回					行政 + まち協	政策 8

4.5 保健・医療・福祉部門

4.5.1 特色・課題

特色	① 健康づくりに意識が高い
課題	①独居高齢者の増加 ②高齢者への外出支援（独居高齢者等への支援）

4.5.2 具体的な振興方策

特色	課題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短期			長期		
				R5	R6	R7			
①	① ②	eスポーツを活用した高齢者の交流機会の創出（同世代、世代間の交流等）	年1回					まち協 + 振興会	政策 20 + 22
①	① ②	高齢者を対象とした取り組みを行う	随時					振興会	政策 19

4.6 生活環境・防犯防災部門

4.6.1 特色・課題

特 色	① 防災意識が高い ② 自然環境保全の意識が高い
課 題	① 自主防災組織の活動に温度差がある ② 人口減少及び高齢化により環境美化活動が難しくなっている

4.6.2 具体的な振興方策

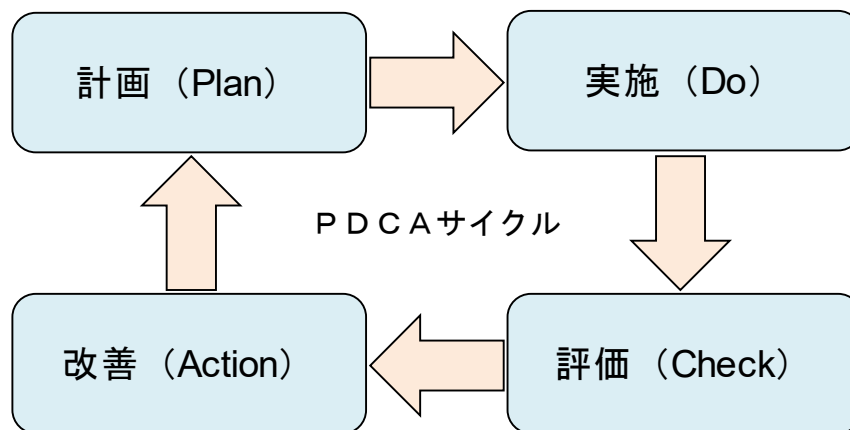
特 色	課 題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短 期			長 期		
				R5	R6	R7			
①	①	避難訓練等の実施	各団体年1回				→	振興会 + 自主防 災会 + 行政	政策 30
②	②	環境美化活動の推進	年1回以上				→	振興会	政策 35

5 計画の推進体制

本計画の推進体制については、天草まちづくり協議会を中心に関係団体及び行政と連携し推進するとともに、進捗状況及び目標の達成度等を年度毎に把握・評価を行い、地域情勢及び社会情勢の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容の見直しを行います。

その手法として、計画（Plan）、実施（Do）、評価（Check）、改善（Action）を繰り返すPDCAサイクルを用いて、継続的に計画を改善していきます。

図18 天草市天草地域まちづくり計画の評価・見直し(PDCAサイクル)




5.1 実施

本計画に基づく施策の実施にあたっては、各実施主体を中心に天草まちづくり協議会、関係団体及び行政と連携し実施します。また、必要に応じて実行委員会を設置し施策の推進を図ります。

5.2 評価・改善

本計画に基づく施策の実施状況等については、毎年度 1 回以上天草まちづくり協議会で評価を行うとともに、社会環境・地域環境の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容を見直します。

地区の概要(R2国勢調査参考)			
面積(km ²)	16.9		
人口(人)	総人口		298
	15歳未満		27
	15～64歳		132
	65歳以上		139
高齢化率(%)	46.6		
就業人口(人)	第1次産業		26
	第2次産業		39
	第3次産業		90
世帯数(世帯)	総世帯数	146	
	高齢単身者	35	
行政区数(区)	3		
学校			
文化財・史跡	福連木の子守唄、福連木太鼓踊り獅子舞、福連木神社、石立神社、義田の碑、説教所 山王山		
その他地域資源	角山、官山の水、子守唄公園、オートキャンプ場、まごころ市場、かしの木館、榎木、龍王権現、猫石稲荷神社、山の神様、火の神様、志田原稲荷神社、山王山、ことの神様		
地域伝統芸能	福連木太鼓踊り獅子舞 福連木子守唄		
地域づくり団体	福連木子守唄&童謡まつり実行委員会		
地区のいいところ・自慢できるところ			
<p>福連木地区は天草市天草町の北東部に位置し、四方を山に囲まれ地域の80%を山林がしめる山村地帯である。天草下島のほぼ中央に位置し、地域の中心を流れる下津深江川に沿って県道24号線が天草下田へとつながり、天草町の観光ルートの玄関口となっている。</p> <p>地域には、江戸時代(安政のころ)から歌い継がれる福連木の子守唄や、太鼓踊り獅子舞といった郷土芸能をはじめ、角山にまつわる歴史や文化、史跡やそれにまつわる物語などが数多く残っており、住民もまた、これらを大事に受け継いでおり、人の和を大事にする人情味あふれるのどかな農山村地域となっている。</p>			
地区が抱える課題・困っていること			
<p>地区には11の集落があり、全146戸のほとんどが山間部に点在している。高齢化が進み、1人暮らしのお年寄り世帯も増え、高齢者の多くが車輜免許を持たないため移動が不便で、公共交通機関を利用するにもバス停まで遠かったり、バスの便数が少なかったりと、容易に病院等にかかりにくく、閉じこもりがちになりやすいという不安がある。また、地域内には雇用の場が無く、若者の多くは、地域外に出て仕事に勤めている現状である。そのため、地域内での様々な活動(市道清掃や葬儀手伝い等)が困難になりつつあり、生活を維持するにも大きな負担がかかってきている。その他、都市部ではデジタルのインフラ整備が進む中で、本地域は山間部に点在する住まいが多い地域ということもあり、インフラ整備がなかなか進んでいかないという課題もある。</p>			

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	人と人とのつながりを大事にする心豊かなふるさとづくり
考え方	地域住民一人ひとりが地域への愛着を持ち、みんなが住んで良かったといえるまちをつくるため、世代間交流などを行いながら生活の豊かさを実感できる、ゆとりとふれあいのまちづくりを進めていく。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	・少子高齢化が加速しており、人口の減少に歯止めがかからない。耕作放棄地が多い。雇用の場が少ない。 ・地域の80%を締める山林の管理が難しくなり、竹林が広がっている中で、竹や木を再利用する取り組みを検討する。	○限りある資源を活用したまちづくり ・地域資源を把握し、活用する。
【B】 観光 ・ 文化	・昔から伝承されている獅子舞踊りや太鼓踊りなどの他、福連木の子守唄があるが、高齢化の加速により現状の維持が困難な状況であるが、保存・伝承を継続させていく。	○地域(歴史)を学び、学びを生かしたまちづくり ・地域の史跡や名所を保全する。 ・出郷者等も含めた保存・継承するための組織を確立する。
【C】 地域 振興	・学校の統合により、転出者がでてきている。 ・地理的に、地域住民が学校行事への参加協力が困難となり、地域ぐるみでの青少年との関わりが低下しているため、体験事業等で世代間交流を図る。	○みんなが参加するまちづくり ・一人ひとりが輝き活動できる人づくりに取り組み、郷土愛を育む。 ・体験や座談会などを織り交ぜた世代間交流。(官山散策会、サロンや各種講演会との連携)
【D】 教育	・児童、生徒の減少と学校が遠距離の為地域住民の学校への愛着が薄れている。 ・子供達と地域住民との交流の機会が失われている状況にある。	○子供会の充実を積極的に推進する ・学校等と連携しながら積極的に行事等の参加を呼びかける。 ・地域ぐるみで子供を育てる体制づくりの実施。
【E】 保健・医療 ・福祉	・年々人口が減り、少子高齢化に歯止めがかからない。 ・高齢者のうち、独り暮らしの方が増えており、山間部で交通手段を持たない老人が孤立してきている。	○笑顔で元気なまちづくり ・高齢者による福連木の歴史講座を開催する。冊子等での保存整理を行う。(サロンとの連携) ・ものづくりなど体験教室の開催。(サロンや各種講演会との連携)
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	・山間地に多くなっている耕作放棄地の再利用と、景観が素晴らしい棚田を活用した活動が必要である。 ・11集落が山間に点在するため、自主防災組織がうまく機能しない。	○豊かな自然と資源を活かした癒しのまちづくり ・耕作放棄地解消を含めた魅力ある農作物等の推進 ・地域に合った自主防災組織へ再編する。
【G】 都市基盤整備	閉校後の校舎等の有効活用の推進 ・校舎等も老朽化していく中でもっと積極的に活用方法を探る。	○行政とのコミュニケーションを密にして情報を積極的に発信して情報を共有する。
【H】 総務・企画	福連木地区を担う人材の育成 ・高齢化が進んでおり、組織を担う若い世代が構成されていない。	○異世代間交流を積極的に推進 ・自治組織や振興会組織に若い世代を積極的に採用する。

福連木地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 4年以上		
				R5	R6	R7			
【C】 地域振興	地区運動会	3区対抗の運動会を開催する。	年1回					振興会	
【F】 生活環境・ 防災	自主防災訓練	自主防災組織による訓練を行う。	年1回					振興会	
【B】 観光文化	炭焼き事業	地区外への参加者を募り体験型の炭焼きを行う。	年1回					振興会	
【A】 産業経済	産業文化祭	産業文化祭を開催する。	年1回					振興会	
【B】 観光文化	鬼火焼き	地域の伝統行事「鬼火焼き」を開催する。	年1回					振興会	
【C】 地域振興	イルミネーション設 営	クリスマス期間を含めた電飾を行う。	年1回					振興会	
【A】 産業経済	特産品づくり講演 会	地域に見合う特産品づくりについて講演会を行う。	年1回					振興会	
【C】 地域振興	地域のごちそう発 見事業	郷土料理のレシピ掲載分の講習会を行う。	年1回					振興会	
【C】 地域振興	先進地視察研修	役員を中心に視察研修を行う。	隔年1回					振興会	
【C】 地域振興	地域の情報発信	広報紙の発行、ホームページの更新、フェイスブックを活用した情報発信を行う。	広報紙年3回、 HP,FBは行事終了 後等随時					振興会	
【C】 地域振興	グラウンドゴルフ 大会	グラウンドゴルフ大会を開催する。	年1回					振興会	
【B】 観光文化	角山官山トレッキ ング	子守唄公園から角山山頂をコースとした レッキングを行う。	年1回					振興会	
【C】 地域振興	敬老会	敬老会を開催する。	年1回					振興会	

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 4年以上		
				R5	R6	R7			
【E】 保健医療福祉	ふくれぎ官山サロンの支援	ふくれぎ官山サロン実施に対する事務分野の支援を行う。	月1回					振興会	
【E】 保健医療福祉	地域福祉見守りネットワーク活動	ネットワーク団体を組織し、定期的な安否確認を行う。	週1回					振興会	
【C】 地域振興	交通安全キャンペーン	子ども会と共同で交通安全キャンペーンを実施する。	年1回					振興会	
【C】 地域振興	花いっぱい運動	里づくり部会で地域の景観形成を推進する。	年2階					振興会	
【C】 地域振興	資源ごみ(空瓶空き缶)の回収活動	地域の児童たちと振興会とで地域全体を廻り資源ごみを回収して振興会の活動費とする。	年2回					振興会	
【F】 生活環境・防犯防災	クリーン作戦	地区内の市道等の除草やゴミ拾いなどの清掃活動を実施する。	年2回					振興会	
【F】 生活環境・防犯防災	耕作放棄地や竹林の環境整備	竹肥の実証試験等を通じて遊休農地の耕作を推進する。	50a					振興会	

福連木地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 5年以上		
				R5	R6	R7			
【B】 観光文化	子守唄継承事業	五木村と特産品の販売等を通じて経済交流を行うとともに子守唄まつりを通じて子守唄の交流も行っていく。	年1回					振興会	
【C】 地域振興	eスポーツによる異世代間交流	インターネットを利用しゲーム形式のスポーツ大会を実施する。	年4回					振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	14.0	
人口(人)	総人口	444
	15歳未満	28
	15～64歳	179
	65歳以上	237
高齢化率(%)	53.4	
就業人口(人)	第1次産業	24
	第2次産業	22
	第3次産業	167
世帯数(世帯)	総世帯数	235
	高齢単身者	68
行政区数(区)	4	
学校		
文化財・史跡	下田温泉、五足の靴文学遊歩道、温泉改築記念碑、力士隼元治の碑	
その他地域資源	下田温泉ふれあい館ぷらっと、足湯、恵比寿神社、下津深江神社、昭和天皇宿泊記念碑、五足の靴碑文、下田金刀比羅宮、さくら公園、夕陽スポット	
地域伝統芸能	下津深江神社太鼓踊り獅子舞	
地域づくり団体	下田温泉祭実行委員会、下田温泉夏まつり実行委員会	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<p>天草下島の西端に位置し、西は東シナ海をパノラマで望むことができ、東は壮大な山々を望むことができる自然に囲まれた地域である。地域の特徴として、700有余年の歴史がある下田温泉に恵まれ、市外からの観光客が訪れており、天草市の観光スポットとなっている。この歴史ある温泉に感謝をする「下田温泉祭」が毎年開催されており、盛大に賑わう一大イベントとなっている。</p> <p>地場産業としては漁業が盛んに行われており、新鮮な魚介類が旅館での料理に並び、観光客からとても喜ばれている。</p> <p>また、観光交流施設や足湯があり、毎日多くの方が訪れて地域交流の場となっている。</p>		
地区が抱える課題・困っていること		
<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化や若者が働ける職場が少なく地区外へ転出する傾向にある。様々な活動を行っているが、参加される方は高齢者が多く、若年層の参加が減少していることから、今後の活動が衰退していく不安がある。 ・下田温泉を活用した旅館等の観光産業も、ここ数年来客数が伸び悩んでおり、厳しい状況が続いている。下田温泉への集客アイデアを観光関係者だけではなく、地域住民も一体となって検討していくことが課題となっている。 		



◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	自然の恵みと住民の温もりで育むまちづくり
考え方	天草最古の温泉「下田温泉」の良さや、天草西海岸の大海原、夕陽の魅力を多くの方に見てもらうため、地区住民、各種団体一体となって交流人口の増加を目指す。 また、誰もが安心して住みやすい地域を目指すため、住民相互の交流を図る。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	地域の景観を守りながら、他地区間競争に負けない魅力ある資源を活用し、集いの場、学びの場としての保養地、文化遺産としての魅力をさらに向上させる。 また、農林水産業や観光・文化施設などが連携して、「ローカル情報」や「花いっぱい」など「おもてなし」により地域全体への回遊性を高めるとともに、ボランティアガイドなどの人材を育成し、まちに集う様々な人々が交流し、それぞれの能力を活かすことで、新しい魅力と活力を生み出すまちをつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ○訪れたい温泉保養地及び景勝地、文化遺産の魅力の向上と発信 ○身近な商店街や集客施設の利用増加を図るための空間や特産品・商品の魅力向上 ○地産地消を基本とし、6次産業化に向けた地区間及び異次産業間の連携の体制づくり ○おもてなしの心、笑顔にあふれたまちづくり ○振興会活動などをきっかけに気軽に参加できる「まちづくり体験」による人材育成と多産業のアイデアの集積による地域づくり
【B】 観光 ・ 文化	今につながる伝統ある歴史や文化を大切に育て、歴史、文化、自然が共存しているこの地域に暮らすことを誇りに持ち、来訪者を温かく迎え入れ、もう一度訪れたいような誰にとっても心地よい心豊かな地域をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ○温泉地としての活力を出すため、住民、関係団体が協力できる地域づくり ○若者や女性など多様な人材が活躍できる環境づくり ○文化・芸術あふれるまちの魅力向上 ○身近なまちの歴史を知ることや趣味の講座など生涯学習の充実 ○「花いっぱい」などで清潔で美しい生活環境づくり ○誰もが市民活動へ参加し、自らの手による生きがいのあるまちづくり
【C】 地域 振興	・年々人口が減り、少子高齢化に歯止めがかからない。 ・高齢化が進み、イベントへの参加が年々減少傾向にある。	<p>地区のイベントは定期的に行っているが参加者が固定化されつつあるため、地区全体が一体となり参加できるよう内容を見直し、地区の活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種スポーツ大会の取組み
【D】 教育	小学校の統合が行われ、地区に学校がなくなり地域住民と子供たちの関りが少なくなっている。	<ul style="list-style-type: none"> ○子供たちや家族で参加しやすい行事や世代間が交流できるイベントの開催
【E】 保健・医療 ・福祉	住民一人ひとりが自ら健康づくりに努めるとともに、高齢者や子育て中の人などが周囲から孤立せず、みんな仲良くいきいきと暮らせるための環境づくりに取り組む。 また、障がいのある人が地域の中で暮らしやすいよう支援し、誰もが生きがいをもち、心豊かな暮らしができるまちをつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者を孤立させない仕組みづくり ○障がいのある人が自らの能力を発揮できる場づくり ○子育て支援や悩みを相談できる交流の場づくり ○生活習慣病予防など地域で取り組む健康づくり ○誰もがいつでも気軽に取り組める運動の場づくり

<p>【F】 生活環境 ・ 防犯防災</p>	<p>日頃からそれぞれの住民相互の交流をはじめ、地区を越えた交流を通して地域のつながりを深める。 その中で、地域全体で防災への関心を高め、災害時の協力体制をつくとともに、住民が協力して子供や高齢者の安全を見守り、青少年の非行や犯罪を防止するなど、地域で互いに支えあえる安心で安全なまちをつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶や行事参加を通じた住民のつながりづくり ○地域自主防災会における防災訓練の実施やハザードマップ作成の推進 ○地域と学校、警察などの関係機関の連携強化 ○登下校時の見守りなど通学路の安全確保 ○地域福祉ネットワークなどによる高齢者の見守り ○病院や施設との連携による医療・介護の提供
<p>【G】 都市基盤整備</p>		
<p>【H】 総務・企画</p>		

下田北地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 4年以上		
				R5	R6	R7			
【B】 観光・文化	下田温泉夏まつり	夜市については、地元商店の出店呼びかけに力を入れ、地域のイベントとして確立していく。灯ろう流しについては、これまで300個程度を下津深江川に流し、幻想的な雰囲気を出していたが、今後も継続したい。	参加者 300人					産業観光部会	
【B】 観光・文化	イルミネーション装飾	主に温泉広場や足湯へ装飾している。来客者に大変好評であり、装飾品の購入を行い継続して行っていきたい。また、温泉旅館についても飾り付けの協力体制を取っていく。						産業観光部会 + 関係団体	
【B】 観光・文化	鬼火焼	1月に伝統文化の継承事業として開催する。ぜんざい会も実施し、住民が参加しやすい内容とする。						文化教育部会	
【B】 観光・文化	十五夜綱引き大会	中秋の名月に下田温泉街のメイン通りで開催し、観光客の参加も歓迎する。綱引き後は、お楽しみ抽選会を開催する。	参加者 120人					文化教育部会	
【C】 地域振興	ONSENガストロノミーウォーキングin天草下田温泉	下田温泉街を拠点に五足の靴文学遊歩道と天草西海岸を歩き、天草の「食」「自然」「文化・歴史」のすべてを体験するイベント。	参加者 200人					振興会 + 実行委員	
【D】 教育	レクリエーション大会	地域住民の交流に重点をおき、子供から高齢者まで参加できる内容で取り組む軽スポーツ大会。年1回開催する	参加者 300人					文化教育部会	
【D】 教育	ゆったりいで湯の街あるき	ウォーキングを楽しみながら、五足の靴文学遊歩道や天草西海岸、下田温泉街の史跡を巡り、歴史や自然とのふれあい、参加者相互の親睦を深めるとともに下田温泉の散策コースを作り、観光散策コースとして活用を図る。	参加者 100人					文化教育部会	
【E】 保健・医療・福祉	敬老会	地区内の70歳以上を対象に高齢者の交流事業として実施。式典と地元の演芸も披露する。金婚夫婦の表彰伝達も行う。9月上旬に実施。						環境福祉部会	
【E】 保健・医療・福祉	健康づくり推進活動	各区選出の健康づくり推進委員が地域検診の受診の声掛けや気になる病気の学習会等の活動を実施する、	年5回程度実施					環境福祉部会	
【F】 生活環境・防災	防犯活動	地区内をパトロールし、犯罪の防止と児童生徒の夜遊びや事故防止、防犯灯の球切れ等の状況確認を実施する。	夏休み期間を中心に2回程度開催					総務自治部会	
【F】 生活環境・防災	クリーン作戦	ゴミのない、きれいなまちづくりを目指し、地区内の清掃活動を民総参加で実施していく。	年2回					環境福祉部会	

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7	4年以上		
【F】 生活環境・ 防犯 防災	花ば植ゆ～かい	下田温泉入口や温泉街道路わきにある花壇に年2回の花植えと年間を通しての花壇管理を行う	年2回の花植え 継続的な花壇の管理				→	環境福祉部会 + 花さき会	
【H】 総務・ 企画	先進地視察研修	地域の課題や振興計画を基に、メインとなる事業を決定し、その事業についての研修を行う。	年1回				→	総務自治部会	
【H】 総務・ 企画	Facebookによる情報発信	振興会活動の事前お知らせ及び実施内容等を掲載し、インターネットを經由して発信する。	随時実施				→	総務自治部会	
【H】 総務・ 企画	しもだん新聞発行	振興会活動の事前お知らせ及び活動報告を地区内へ各戸配布し周知を図る。	必要に応じて発行				→	総務自治部会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	8.8	
人口(人)	総人口	171
	15歳未満	6
	15～64歳	67
	65歳以上	89
高齢化率(%)	52.04	
就業人口(人)	第1次産業	8
	第2次産業	10
	第3次産業	51
世帯数(世帯)	総世帯数	82
	高齢単身者	19
行政区数(区)	3	
学校		
文化財・史跡	五足の靴文学遊歩道、猪わな、唐臼小屋跡、諸石垣	
その他地域資源	鬼海浦海岸、宝来島(笠松瀬)、笠松公園、下田南海浜公園、妙見浦、小田床川のホタル、慈泉庵(寺子屋跡)	
地域伝統芸能	小田床獅子舞、小田床太鼓踊り、小田床音頭	
地域づくり団体	天草こざとこ農事組合法人	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<ul style="list-style-type: none"> ・イベント等の参加者が多い ・自然に恵まれている(特に海) ・子どもが大切にされている ・田、畑がたくさんある ・他所から入ってくる人にあたたかい(支援がある。移住者が多い) 		
地区が抱える課題・困っていること		
<ul style="list-style-type: none"> ・交通が不便である。熊本市から3時間かかり、道路が狭くカーブが多い(国道389号改良中) ・現段階で若い人が少なく、将来的にも激減する可能性が高い ・職場がない ・空き家が多い ・農地、山林の荒廃 ・草刈りするところが多すぎる ・壊れかけた家屋がある(景観が悪い) ・憩いの場(子どもから高齢者まで)をとおして、お茶を飲む場などの交流の場が少ない ・閉校となった小学校施設の活用 ・農業の担い手がいらない 		



◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	心ゆたかに暮らせる地域の創造
考え方	地域住民の生活基盤拡充を図るため、地元で頑張っている団体等を支援することで耕作放棄地が解消することにより、働く場の確保をするとともに、空き家の活用を図り、更に、子どもには地域に誇り(夢)がもてるよう、地域の行事活動の充実化を企画し、お年寄りには生きがいをもてる活動ができるような環境づくりを目指していく。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	少子高齢化が加速しており、人口の減少に歯止めがかからない。耕作放棄地が多い。雇用の場が少ない。今後、地元で頑張っている団体の補佐を行うことで将来の雇用等につなげる。	地域の主要産業である農業の活性化が不可欠であることから、地域生産物の消費拡大を目指し、(株)チーム天草と下田南地区営農改善組合、天草ごとこ農事組合法人との連携を図る。 ○耕作放棄地の再利用 ○雇用の拡大
【B】 観光 ・ 文化	当地区には、昔から伝承されている獅子舞踊りや太鼓踊りなどがあるが、若者が流出している現状から衰退しつつあり、後継者問題が課題となっている。今後は老若男女問わず、生涯学習を通じて伝統文化を学び、後継者を育成する。	地域特有の文化の伝承を目的とした、地元講師の育成等を行う。また、伝統文化から地域の歴史等、幅広い分野での学習会を公民館と連携し開催することで、子どもからお年寄りまで年齢に関係なく、参加しやすい生涯学習環境づくりを実施する。
【C】 地域 振興	少子高齢化が進む中、大きな事業経営もないため、今後の事業を実施する上で、将来を見据えた事業内容を踏まえ、視察等を交え協議する必要がある。	将来を見据えたコミュニティビジネスを行っている団体等の視察を行い、参考にしながら当地域振興の方向性を確立していく。
【D】 教育	青少年が少なくなってきた。また、世界遺産登録を機に長崎との文化交流を深めて行く。	地域の将来を担う子どもたちに、ふるさとを愛し誇り(夢)を持ってもらえるような、歴史郷土を体験するイベント等行事活動の充実を図り、地域の子もたちは地域で育てる環境づくりを目指すとともに長崎との文化交流を深める。
【E】 保健・医療 ・福祉	当地区は高齢化率が非常に高く、少子高齢化の加速は進む一方である。また、独居老人、交通弱者も増大している現状である。	健康福祉対策として、お年寄りの健康の維持を地域住民全体で考える必要がある。 ○ふれあい活動を行うサロン等の支援 ○高齢者福祉の拡充 ○児童と高齢者の交流の場を設ける
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	当地区は、ホテルが飛ぶ自然豊かな環境にあるが、耕作放棄地が年々多くなってきている。また、自主防災組織の連携等充実を図る。	豊かな自然環境を永続的に継承できるよう、地域循環型の環境づくりを目指すと共に、いかなる災害にも柔軟に対応できる自主防災組織を確立する。 ○堆肥施設の有効利用と清掃活動の推進 ○ゴミの分別や廃棄の方法などの啓発活動

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
<p>【G】 都市基盤整備</p>		
<p>【H】 総務・企画</p>	<p>小規模地域であるが、出郷者をはじめ市内外へSNS等情報発信を行い、地域のPRに努めて行く。</p>	<p>出郷者への「会報 小田床」の送付や、SNS等を有効活用し地域のPRに努める。 ○「会報 小田床」年2回発行 ○FB共有の配信 ○天草市WEBの駅の掲載</p>

下田南地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期		長期			
				R5	R6	R7	4年以上		
【E】 保健・医療・福祉	ウォーキング大会	地区民の健康増進のため、地区内を中心としてウォーキングを行う。	地区参加者数60人					振興会	
【E】 保健・医療・福祉	レクリエーション大会	地域の児童を取り込んで、今後も運動会を継続していく。	参加者数70人					振興会	
【E】 保健・医療・福祉	ミニバレー大会	子どもから高齢者まで地区内を対象としたミニバレー大会を実施する。	参加者数30人					振興会	
【E】 保健・医療・福祉	球技大会	地区内を対象としたグラウンドゴルフ・ミニバレー、モルック大会等の大会を実施する。	参加者数8070					振興会	
【F】 生活環境・防災	クリーン作戦	ゴミのない、きれいな町づくりを今後も目指し、区ごとに住民総参加で実施していく。	6月10月の2回実施					振興会	
【A】 産業経済	産業文化祭	農産物と一般作品の展示を行う。また、ステージでのイベントやバザーなども開設する。	出展数150点以上					振興会	
【C】 地域振興	イルミネーション装飾	クリスマスシーズンに、国道に面した公民館広場に設置する。	LED100%使用					振興会	
【F】 生活環境・防災	花いっぱい運動	公民館を中心として、年2回花植え活動を行う。今後は特にプランターの雑草取り作業など、維持管理にも努めていく。	春秋年2回実施					振興会	
【B】 観光・文化	鬼火焼き	1月に年始めイベントとして、鬼火焼を行う。ぜんざい等の無料配布は今後も行っていく。	参加者数50人					振興会	
【E】 保健・医療・福祉	ラジオ体操キャンペーン	ラジオ体操推進事業として、夏休み期間、児童を中心に朝のラジオ体操を行う。	参加者数45名					振興会	
【F】 生活環境・防災	防犯パトロール	夏休み期間中に駐在所と連携し、夜間防犯パトロールを行う。	2回実施					振興会	
【E】 保健・医療・福祉	敬老会	地区内の70歳以上を対象として実施。金婚夫婦表彰伝達も行う。	9月実施					振興会	
【H】 総務・企画	広報誌発行	振興会の活動報告やお知らせなどの外、PTA行事などもまとめて紙面化し、地区世帯及び出郷者へ配布を行う。	年3回発行					振興会	

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7	4年以上		
【H】 総務・企画	年度行事カレンダー事業	振興会、学校、敬老会、区行事など地域行事を明記したカレンダーをつくり住民に配布する。	5月中旬までに120部発行					振興会	
【E】 保健・医療・福祉	健康づくり事業	健康づくりのため住民が自由に参加できるミニバレー、グランドゴルフを実施する。	毎週木曜日回実施					振興会	
【F】 生活環境・防災	自主防災事業	危険個所の把握、並びに、地域住民すべてが自然災害等の緊急時に対応できるよう避難訓練を実施する。	年1回実施					振興会	
【C】 地域振興	役員先進地研修	天草市を含め県内外のまちづくり団体で、特にコミュニティビジネス等を扱っている先進団体への研修を実施し、地域づくりの参考に努める。	年1回実施					振興会	


※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

下田南地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7	5年以上		
【D】 教育	サポート事業	・世界遺産つながりがある長崎と文化交流を深めるため、地域間交流を実施していく。 ・子供たちの不登校や登校渋り予防など、心身健全育成の環境作りに取り組む。	文化交流年1回実施 参加者5名以上					振興会	
【B】 観光・文化	ふるさと再発見事業	下田南の「ふるさとカルタ」は昭和58年、学校とPTAで子供達に、下田南の故郷の良さに気づいてもらおうと作成された。故郷愛と創造する心を育生させる。	年1回以上					振興会	
【D】 教育	平和教育	平和教育の推進	年1回					振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)			
面積(km ²)	31.1		
人口(人)	総人口		973
	15歳未満		41
	15～64歳		393
	65歳以上		539
高齢化率(%)	55.4		
就業人口(人)	第1次産業		38
	第2次産業		88
	第3次産業		269
世帯数(世帯)	総世帯数	490	
	高齢単身者	129	
行政区数(区)	8		
学校	天草小学校、天草中学校		
文化財・史跡	高浜焼窯跡および灰原、高浜焼色絵三ツ割草花唐草文六稜大皿、上田家住宅など		
その他地域資源	十三仏公園、白鶴浜海水浴場、国登録有形文化財上田家・旅館白磯		
地域伝統芸能	高浜八幡宮太鼓踊り獅子舞		
地域づくり団体	高浜ブドウ会、白鶴浜活性化委員会、青空市班		
地区のいいところ・自慢できるところ			
<p>高浜地区は、雲仙天草国立公園内の自然環境が豊かな景勝地にあり、日本の快水浴場88選に選ばれた白鶴浜や天草西海岸の海岸美を有する地域である。また、江戸時代から天草陶石や高浜焼といった陶磁器で栄えてきた地区でもある。</p> <p>陶磁器産業を根付かせ、高浜の人々の暮らしを支え、その歴史を形成してきた「旧庄屋上田家(国の登録有形文化財)」の歴史的建造物があり、日本人ではじめてバルチック艦隊に遭遇し通報した赤崎伝三郎が建てた和洋折衷の昭和初期時代の館がある。独自の歴史や文化が、今も色濃く残っている地域であり、海産物などの食材も豊富な地域である。</p>			
地区が抱える課題・困っていること			
<p>・昭和31年、天草町(福連木村、下田村、高浜村、大江村が合併)が誕生した当時、4,852人いた高浜地区の人口は、令和2年には973人まで減少しており、急速な少子高齢化の進行と過疎化の進展により、65歳以上が55.4%を占めるなど、準限界集落となっている。</p> <p>・住民同士の交流やふれあいも減り、併せて新型コロナウイルスの流行により、地区で行われる行事への参加者数の減少から、行事自体の存続が危ぶまれている状況である。</p>			

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	自然、文化、産業がハーモニーを奏でるまちづくり
考え方	文化財や地域資源を守りながら後世に引き継ぐとともに、地域の相互扶助意識を高め、住民が自信と誇りの持てる積極的な地域づくりに取り組む。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化と労働力不足により、耕作放棄地が増加している。 ・雇用の場が少ないことによる人口(若者)の流出により地域経済が低迷している。 	高浜ぶどうの植栽拡充を行うことで、雇用の創出を図り、明治の文豪北原白秋や木下杢太郎ら「五足の靴」一行が九州を旅した時に見たと思われる景観再生に取り組み、地域産業の活性化に取り組む。 ・耕作放棄地解消・高浜ぶどうを活用した特産品開発推進
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・都市部との交流が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の伝統文化を次世代を担う子ども達へと継承する活動を進める。白鶴浜海水浴場を中心とした都市部との交流を行う。 ・後継者育成 ・伝統芸能の行幸化 ・白鶴浜活性化委員会の運営
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化により、手軽に楽しめるグラウンドゴルフ以外の事業への参加者数が減少傾向にある。 ・住民の集まる場が少なくなっている。 	各種事業は継続しつつ、誰でも参加できるような内容を検討し地域振興につなげる。
【D】 教育		
【E】 保健・医療 ・福祉	住民一人ひとりが健康づくりに努め、高齢者や子育て中の人々が周囲と孤立せず仲良くいきいきと暮らせる環境づくりへの取り組みや障がいのある人が地域の中で暮らしやすいように支援していくことが課題。	誰もが生きがいをもって、心豊かな暮らしができるまちづくりを進める。 ・高齢者を孤立させない仕組みづくり ・障害のある人の自立と社会参加への支援 ・地域全体で健康づくり
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	災害による被害を予防し、軽減するための活動を行う自主防災組織が各区で結成され、防災活動に取り組んでいる。引き続き、支援を行いながら安心安全な地域づくりを進める。	これまで守り継がれてきた地域の自然豊かな環境を、次世代を担う子ども達へと残していくための取り組みを行う。また、一人ひとりが自分らしく安心して暮らせる地域づくりを進める。 ・環境美化活動 ・自主防災組織の研修会等
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画		

高浜地区地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7	4年以上		
【A】 産業 経済	高浜ぶどう復活	高浜ぶどうの復活の取り組みを行う。 また、ぶどう加工品の取組みを行う。	1年目 収穫量 1.0t 2年目 収穫量 1.2t 3年目 収穫量 1.4t 4年目 収穫量 1.6t					振興会	
【A】 産業 経済	青空市開催	青空市・無人販売を開催する。	毎月2回(第1・第3日曜)					振興会	
【B】 観光 文化	歴史散策&講座	地域の歴史について研修会を開催する。	研修会年1回					振興会	
【B】 観光 文化	おね火	正月の伝統行事「おね火」を継承する。	年1回					振興会	
【C】 地域 振興	球技大会	球技大会(グラウンドゴルフ)を開催する。	年1回					振興会	
【C】 地域 振興	情報発信	広報誌の発行、ホームページの更新、フェイスブックを活用した情報発信を行う。	広報誌 年3回 HP、FBを使った情報発信 週1回					振興会	
【E】 保健 医療 福祉	敬老会	敬老会を開催する。	年1回					振興会	
【F】 生活 環境・ 防犯 防災	自主防災訓練事業	自主防災会等による訓練を行う。	訓練年1回					振興会 + 自主防 災組織	
【F】 生活 環境・ 防犯 防災	美化活動	地域内の清掃を行うとともに、花づくりによる美化活動を行う。	清掃 年2回 花苗植え(春、秋各1回)					振興会 + 区	
【C】 地域 振興	たかはまフェスタ &グラウンドゴルフ	グラウンドゴルフと運動教室(ニュースポーツ)を開催し、住民が気軽に楽しめる運動習慣の定着による健康保持と増進、そして介護予防を行う。	参加者100人					振興会	
【C】 地域 振興	高浜ものがたり ウォーク	天草西海岸の景観を楽しみながら、約5.0kmのウォーキングを行う。	参加者50人					振興会	
【B】 観光 文化	白鶴浜活性化事業	マルシェ、イルミネーション装飾による都市部との交流事業を行う。	年2回					振興会	

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	14.3	
人口(人)	総人口	729
	15歳未満	53
	15～64歳	325
	65歳以上	351
高齢化率(%)	48.1	
就業人口(人)	第1次産業	123
	第2次産業	60
	第3次産業	178
世帯数(世帯)	総世帯数	365
	高齢単身者	97
行政区数(区)	7	
学校		
文化財・史跡	キリシタン関連遺産、松浦家古文書、隠し御堂、根引きの子部屋、経塚の塔、穴観音、千の通塚、遠見番所跡、唐人墓、古寺さま、妖蛇畑の聖水、上木原遺跡、兵越の地蔵	
その他地域資源	大江教会、天草ロザリオ館、西平椿公園、やぶ椿、大ヶ瀬、小ヶ瀬、お万ヶ池公園、須賀無田海岸、徳照山江月院、大江八幡宮、北請稻荷神社	
地域伝統芸能	軍ヶ浦十五柱神社太鼓踊り、新地節と綾竹踊り、大江八幡宮の太鼓踊り・獅子舞	
地域づくり団体	大江おこそう会、西平カメラクラブ	
地区のいいところ・自慢できるところ		
人柄がよく人情がある／地域のまとまりがある／自然豊かで景観が良い(日本の夕陽百選・天草夕陽八景)／キリシタン文化の象徴である大江教会があり、崎津集落の世界遺産と共に天草の観光を担っている		
地区が抱える課題・困っていること		
人口の減少／漁業・農業の後継者不足／若者の働く場所がない／交通の便利が悪い(病院・買い物等)／耕作放棄地が増えている		



(上空から見た大江教会から漁港までの街並み風景)

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	歴史遺産と自然景観を活かしたまちづくり
考え方	豊かな自然と数多くの歴史を学び、地域資源の保全と利活用を行い、多くの来訪者で溢れるまちづくりに取り組みます。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	・基幹産業である農業は、後継者不足と高齢化による耕作放棄地が増えている。	○限りある資源を活用したまちづくり ・資源や特産品を活用したイベントを開催する。
【B】 観光 ・ 文化	・キリシタン関連による観光客が多い。 ・西海岸椿公園への来場者が増えている。 ・滞在型観光客が少ない。 ・地区には、歴史に由来する史跡や伝統文化が多い。	○滞在型観光客を増やすための取組を行う ・イベント等の実施 ・PR(ホームページ等)活動を行う。 ・伝統文化の継承事業を実施する。
【C】 地域 振興	・多くの観光地があり、多くの観光客が来訪する。 ・観光客からの経済効果に繋がらない。	○地元みんなで作る経済効果 ・住民や各団体と協力しながら実施する。 ・町内の子供たち(小・中・高生)の協力を受けながら実施する。
【D】 教育	・地区内の子供の減少と小・中学校がなく、子供達と触れ合う機会が少ない。	○地域と学校で子供を育む。 ・地域・保護者・学校で協力しながら、将来の日本を背負う子供を育てる事業を実施する。
【E】 保健・医療 ・福祉	・人口減少と高齢化が進んでいるため、自治部会等で見守りや声掛けを行っている。 ・交通の便が悪く病院も町内になく、通院も一日がかりである。	○笑顔あふれるまちづくり。 ・高齢者への積極的な声掛け見守りを行う。 ・健康づくりに寄与できるように、みんなが参加できるスポーツ行事に取り組む。
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	・きれいな町を目指しクリーン作戦を年2回実施し、環境美化で花いっぱい運動も行っている。 ・防災では、高齢者が多いため自主防災組織による避難訓練を実施している。	○観光客を温かく迎えるまちづくり。 ・観光施設や道路沿いに歓迎の花植えを行う。 ○安心安全なまちづくり。 ・災害発生後の避難所生活の訓練等も実施する。
【G】 都市基盤整備		
【H】 総務・企画	・振興会活動の必要性が薄れてきている。	・振興会活動の必要性を関係者と共有する。 ・振興会活動の取組を具体的にPRする。

大江地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 4年以上		
				R5	R6	R7			
A	ジャガジャガ祭	特産品のじゃが芋を、農家に耕作依頼し、子供から大人まで楽しめる掘り取り体験を行い、じゃが芋や他の農産物の販売・PRを行う。	来場者数 2000人					振興会 + 農家	
B	大江クリスマスイルミネーション	大江教会や天草町ロザリオ館周辺に、約1ヶ月間イルミネーション点灯を行い、来場者に楽しんでもらう。また、周辺旅館等の宿泊客にも楽しんでもらえるように、旅館等のホームページでPRに活用してもらい、観光客の増加に繋げる。	期間来場者数 8000人					振興会 + 実行委員会	
B	あったか椿まつり	東シナ海を眺望しながら2万本の椿の花や天草のラピュタとSNSなどで有名になったアコウの木を見てもらう。併せて、地域の特産品の販売を行う。	来場者数 1000人					振興会 + 実行委員会	
B	大江精霊流し	お盆の帰省客と地域の交流、伝統文化の継承を目的に初盆家の精霊流しを行う。	来場者数 400人					振興会	
D	子供との交流会	小学生のふるさとの思い出作り、海・山・ふるさとの遊びなどを体験できる事業を行う。	年1回～2回					振興会	
E	敬老会	70歳以上を対象に、長寿や金婚式表彰を演劇や踊り、カラオケや記念品等でお祝する。	9月に実施					振興会	
E	大江地区体育祭	子供からお年寄りまで楽しめる、健康維持のための軽スポーツを実施する。	10月に実施					振興会	
E	グラウンドゴルフ大会	誰もが参加できるスポーツを通じて、地域住民の親睦と融和、健康づくりにグラウンドゴルフ大会を実施する。	年1回～2回					振興会	
F	クリーン作戦	国道沿いや市道、生活道路などの清掃草刈を実施する。	年2回以上					振興会	
F	花いっぱい運動	地区内の道路沿いや観光施設付近に、四季折々の花を育てる。	年4回程度					振興会 + 住民	
F	防災訓練	自主防災組織と共同で、防災訓練・要支援者の避難訓練や避難所体験などを実施する。	年1回					振興会 + 防災組織	
H	先進地研修	振興会の取組や地域産業の取組などの先進事例を研修する。	2年に1回 役員交代時期					振興会	
H	出郷者との交流	大江より上京し多方面で活躍されている方々と交流を図り、故郷への思いを深めて頂く。	年1回ふるさと会の総会に合わせる					振興会	

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 4年以上		
				R5	R6	R7			
H	広報誌発行	振興会活動や地域の情報、学校・出郷者の情報を交えて発行する。併せて、出郷者の購読希望者にも送付する。	年4回発行する				→	振興会	
H	ホームページ作成	振興会ホームページやフェイスブック・インスタグラムなどで、活動やイベント情報などを発信する。	通年				→	振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。